

ハローワーク福井 就職支援業務報告（令和5年度）

1. 所長による分析（業務運営の総括）

（1）今年度特に重点的に取り組んだ事項についての分析等

当所では、令和5年度の主要指標目標値を就職件数5,578件、求人充足数5,917件、雇用保険早期再就職件数1,496件とし、目標達成に向けて、以下の取組を行いました。

求人者に対しては、求人提出の利便性を図るため、事業所訪問時にマイページを利用した求人提出をアピールしたことにより、オンライン提出が、令和5年度においてマイページ利用割合が90%を超えるに至りました。また、人手不足の現状を鑑み、求人条件の緩和等、人材確保のため労働条件の見直しを積極的に提案しました。併せて、安定所にて事業所をアピールする場としてPR動画の募集を行い所内にて放映し、求人者・求職者に対する支援の強化を図りました。

求職者に対しては、ミニ面接会を毎月2回開催したことや、職場見学の開催など、直接事業所と話す機会を多く設けることで、求職者の多様なニーズに合わせた内容を提供する事ができました。特に「ミニ就職面接会」には、人材不足分野の「介護・看護」「警備」「運輸」等を必ず参加企画しており、毎月複数名の就職の結果を出してました。11月には「介護・看護・保育士」を中心に行い、複数名が就職至りました。

運輸関係においても、福井県の各団体と業界説明会を企画し、就職に結び着くケースが増えています。各団体からも好評を得ており、令和6年度においても継続的に行っていくこととします。

また、就職氷河期世代については、アドバイザー、コーディネーターによるキャリアコンサルティングを実施し、再就職に際し適正・能力の明確化や課題となる要因（仕事理解・自己理解不足・応募書類作成支援・模擬面接が必要）等の把握、解決に努め就職支援を行ったことや、就業ニーズを的確に把握し、求人開拓を積極的に行った結果、目標達成率128%となりました。その他、公的職業訓練修了3か月後の就職件数についても、マッチング相談を積極的に進め、求職者の就職意欲の喚起を常に意識した職業相談を行うことで、目標達成率132%となりました。

オンライン利用登録者に目を向けると、4年度は76.1%でしたが、5年度には85.0%と8.9%（146人）の増加となりました。若い世代以外のオンラインが苦手な世代に対しては、窓口職員がサポートするなど積極的に登録を促したことが成果につながりました。

（2）前年度の課題を受けて今年度にサービス改善・業務改善を図った事項についての分析等

求職者に寄り添った就職支援を行うため、求職者担当者制を設けているところです。多くの求職者への相談・就職へのアドバイスなど、支援対象者ごとの支援内容及び支援状況を見える化するため「担当者制管理表 運営シート」を作成し、職業相談部門（学卒、専門援助を除く）の各職員が各自の状況を入力することとしました。このことにより、担当者自身が進捗状況を把握することができるとともに、管理者は、部門員が能動的に支援ができているのか確認・点検を行うことができ、進捗状況に応じた助言・指導を行い、個々人のスキル向上を図ることができました。

これは、管理者の職員育成に有効な手段であったことから、大量募集の求人がないにもかかわらず、就職率は4年度より0.8ポイント増加しました。

（3）その他の業務運営についての分析等

令和4年度から引き続きみられる傾向として、システムのオンライン化に伴い、安定所に来所せずとも、安定所と同じ求人が閲覧できるようになったことから、若年層の来所が減少しており、反対にオンラインを不得手とする高齢者の来所が目立つようになってきました。また、来所される求職者については、職業訓練を希望する者や、職業援助などのニーズを期待しているものと思われます。都市部と違い、オンラインによる相談等よりも、来所し対面による職業相談が圧倒的に好まれており、車社会である地方において、オンラインにメリットを感じている求職者は少ないように感じます。今後も、この傾向が続くと思われることから、来所される求職者にいかに手厚い支援を行っていくことができるか、安定所での充実した支援の在り方を常に検討する必要があると考えます。

(4) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえて次年度以降に取り組むべき更なるサービス改善・業務改善の方向性

幹部職員自らが、事業所見学に参加し地元企業から提出される求人内容を把握すること等、求人充足のために能動的に考える職員を育成し、地域に密着した行政として貢献できるよう意識の向上を図っていく必要があると考えております。このため、紹介窓口職員の事業所見学の目標を年間4回とし、求人者の実情を把握するとともに、求人者に対し求職者の状況を説明し、要件緩和など求人充足に向けて積極的に提案できるようにしていく事も併せて行っていく必要があると考えます。

また、令和4年度後半から取り組みを開始した「PR動画～求人票の向こう側へ～」を継続的に行い、特に雇用保険受給者の待ち時間に映像を流すことで、事業所への関心を図るなど、有効活用を図っていくこととします。

2. 特記事項

雇用保険受給者に対して、初回認定後の相談時に積極的な窓口利用を促す内容のリーフレットを配布しました。また給付制限中の方への働きかけとして、給付制限中に1ヶ月以上相談していない受給者に対し、早期再就職及びハローワーク窓口利用を促すリーフレットなどの郵送を行いました。このことにより、令和4年度より早期再就職件数が11.9%増との結果になりました。今後も、早期再就職に向けての積極的な働きかけを行っていきたいと考えます。

3. 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

4. マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数	雇用保険受給者 早期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	④ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代の不安定就労者・無業者の件数	⑤わかものハローワーク等を利用して、就職したフリーター等のうち、正社員として就職したものの割合	⑥公的職業訓練修了3か月後の就職件数	⑨生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数				
令和5年度目標	5,578	5,917	1,496	90.0%	90.0%	610	65.0%	170	155				
令和5年度実績	5,239	5,795	1,506	79.0%	98.3%	781	82.1%	225	169				
目標達成率	93%	97%	100%			128%	126%	132%	109%				

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

※ 就職件数は「(従来の)紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の)紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。